



第4日目(7/18) 現地3日目 ホストファミリーとお別れ



[速報ページへ](#)

[交流のページへ](#)



2日間お世話になった民泊のみなさんとお別れです。多人数の高校生を、快くホストファミリーを引き受けていただき大感謝です。ありがとうございます。



ホストファミリーと



ホストファミリーと



ホストファミリーと



ホストファミリーと



ホストファミリーと



ホストファミリーと



八瀬の会長のお話



八瀬のみなさんと

生徒たちのふりかえり (1)

2年伏原

民泊ですが、ご飯が豪華で量が多く、食べ切れるかな.と言った感じだったのですが、いざ食べ始めてみるととても美味しく夢中になって無言で食べてしまいました。朝ごはんなんかは、普段はお茶碗一杯のご飯で済ませてしまうのですが、ご飯にお味噌汁に焼き魚にサラダに和え物(とても健康的な朝ごはんを朝早くから準備してくださったのでお腹いっぱいになるまで食べました。不思議なことにもいつもご飯一杯食べたら食欲が無くなるのですがこの日は全然そんなことがなく、おかわりを出されたらもしかしたら食べられるかも、と思えました。夜は夜でテーブルに乗り切らないくらいの量を準備して下さり、美味しいご飯を沢山食べました。毎回お手伝いさせていただき、配膳に加えて盛りつけをしたりご飯をよそったりしました。その時にお母さんで談笑したのが楽しかったです。温かい方たちでまるで第三のおじいちゃんおばあちゃんみたいで帰省した時みたいにくつろがさせてもらいました。

2年藤原

いつもよりすっきりと目が覚めた6:00。朝ごはんの準備を手伝い、みんなで食卓を囲んで美味しくいただき、デザートにはお手製のプリンまで食べさせてもらった。カラメルソースまで手作りだというその味は、甘すぎず苦すぎず絶品でその場のプリンを食べ尽くしてしまいたいほどだった。月立小学校に向かい、胸中に寂寥の念を抱きながらホストファミリーとの名残惜しい別れを告げた。

2年中西

昨日より起床時間が1時間遅かったというのもあってか、疲れもすっかり取れて気持ちの良い目覚めだった。手伝いにも慣れてきて、吉田さんもたくさん仕事を任せてくれたので、本当に東北の両親のように思えた。最後のご飯では、手作りの美味しいプリンも出してもらって自分も食べてしまった。最後だと思うと食べきってしまうのが勿体なく感じ、名残惜しさも感じながらの楽しい食事となった。お別れの際も、必ずまた遊びに行きます、と約束してしっかりお別れをすることが出来たので、また必ず、おふたりに会いに行きたい。また、北摂つばさ高校・追手門学院高校の素敵なルームメイトとも、初日と比べ見違えるほど仲良くなれて本当に嬉しい。文化祭での交流も約束したので、楽しみにしている。

1年小椋

ホストファミリーとお別れ寂しかったです。北摂つばさの先輩も優しく面白くて最高でした。めっちゃ楽しかったです。また会いたいです。今回のボランティアで人とのつながりは大切だなと思いました。一期一会って言うので、大切にしたいです。でもつる子さんとはまた会いたいです。遠くでも自分を知っていてくれる人がいるってすごく心強いなと思いました。